

★ カルティエ×25ans プロデュース  
スペシャルチャリティパーティー

創刊25周年を迎える女性ファッション誌「25ans」(アセット婦人画報社)とハイ・ジュエラー「カルティエ」とのコラボレーションで、夢のようなボウルパーティーが、昨年12月10日(土)に開催されました。  
会場となったのは、シャトーレストラン「ジョエル・ロブション」。ドレスアップしたゲストの皆さんのご参加費、ラッフルチケット売上合計1,460,000円をチャリティとして子供地球基金にご寄付いただきました。



恵比寿ガーデンプレイスの一角にあるジョエル・ロブションにて。寄付金を集めるために豪華な賞品も提供されました。

★ リボンツリーを育てよう

ネット上で「環境」と「子ども」を支援するサイト「アースリボン」活動が始まりました。参加方法はとてもシンプル。「アースリボン」のサイト (<http://www.earthribbon.jp>) 上にあるツリーにリボンを飾り付けてください。リボン1個につき300円を寄付していただくと、選んだ色のアースリボン(実物)が届くというもの。子供地球基金のツリーに飾り付けていただくと、300円のうち100円が子供地球基金へ寄付され、残りの200円がアースリボン基金(アースリボンの材料費と活動運営費)となります。アースリボンの色は全部で7色。お好きな色を選んで、子供地球基金のツリーを大きく育ててください。



★ クリスマス・チャリティブレス

女子大生などに人気の洋服ブランド「Pinky Girls」(株FREE'S INTERNATIONAL)が発売したクリスマス限定チャリティアイテム。ストーンやパールのついたブレスレット(定価525円)は全国と同ショップで発売と同時にほぼ完売。雑誌「Ray 1月号」(主婦の友社)では、このチャリティアイテムと子供地球基金の活動も紹介され、売上の一部が寄付されました。



～第2段チャリティブレスも発売開始～

デザインも一新され全国のショップで3月24日より発売。「Ray5月号」(3月23日発売)でもタイアップ記事が掲載されています。

★ Charity Wine Party チャリティワインパーティー ～4、5月はお休み 6月新たに再開予定～

毎月第1木曜日に開催してきたチャリティワインパーティー。毎回たくさんの方にお越し頂き、すてきな人との出会いあり、皆さまのチャリティに対する熱い思いを感じられる場となりました。これまで14回開催したワインパーティーは、3月の会を最後にしばらくお休みいたします。今年6月には、新たなコンセプトでのパーティーにリニューアルし、皆様に再びご案内させていただきます。楽しみにお待ちしております。

これまでの Fundraising 総額 (14回分)  
¥1,622,073



その夜、  
息子が見つけたランタンが、  
少し大人になった  
彼の顔を照らしていた。

感じる心を、灯そう。



<http://www.coleman.co.jp>



宇宙へ行こう / Go to Space  
キプロス島 / Cyprus  
8才 / Age8

©子供地球基金 / KIDS EARTH FUND

# KIDS EARTH HOME Project

キッズ・アース・ホーム

2月5日から12日まで、代表鳥居と事務局高橋・村井が、カンボジアとベトナムに行ってきました。そこで見てきたもの、聞いてきたこと、そして久しぶりに会ったホームの子どもたちの様子をお伝えします！

## 第6号キッズ・アース・ホーム in カンボジア 貧困地区の小学校

### 1年8ヶ月ぶりの訪問

ブンペンから車で約1時間。第6号ホームは、貧困地域に暮らす子どもたちのための公立小学校です。私たちが学校に到着した時間はちょうどお昼休みでしたが、約1年8ヶ月ぶりの日本からの訪問者に、子どもたちがどこからともなく次々と現れてきました。早速子どもたちとワークショップを開始。この学校に通う子どもたちは全部で474名。まずはそれぞれの教室で、クレヨンや色鉛筆でカードを作り、画用紙には絵の具で絵を描きました。絵の具を使うのも、見るのも初体験の子どもが多く、最初はおっかなびっくり戸惑っていましたが、一度使い方がわかると、思い思いの絵を描き始めました。そこで、今度はみんなが絵の具を使えるようにと、教室の外に出て描くことにしました。中庭の地面に紙を置いたり、校舎の壁を使ったり、いたるところで絵を描き始め、1枚描き終わるとすぐに次の紙を取りに飛んできて、紙を配るのが間に合わないほど！

### みんなで大縄跳びのはずが・・・

大縄をするために、日本から用意していったロープをとり出すと、一斉にロープに集まり、なぜか大縄ではなく綱引きが始まりました。20メートルもの長い長いロープにも関わらず、そこに収まりきれないほどの数の子どもたちが引っ張り合い、そのパワーでなんとロープが真っ二つに切れてしまいました。しりもちをついた子どもたちからは大きな笑い声が上がりました。

### 第6号ホームの現状「トイレの問題」

鉛筆、色鉛筆といった文房具、けん玉などを寄贈。無邪気で元気いっぱいの子どもたちですが、文具用品、机、椅子、洋服などあらゆる物資が不足しているのが現状です。トイレも子どもたちが川まで汲み取りに行った水を使用しています。小さい子どもたちには大変な重労働である上、そのトイレさえもうまく機能しなくなって、衛生的にも非常に悪い状態です。できる限り早く改善することが今の課題です。



描き終わった絵を地面に並べると、とてもたくさんの個性あふれる作品ができあがったことに驚きました。(第6号ホーム)

## カンタボバ小児科病院レポート Vol.1

昨秋の子供地球基金17周年ファンドレイジングパーティーの際にはカンボジアから来日し、チェロの演奏を披露してくださったスイス人医師ビートリッシー氏が、カンボジアブンペン市内に3つ目のカンタボバ小児科病院をオープンさせました。今回、その院内を見学し、リッシー氏にもお話を伺うことができました。この病院は完全無償病院で、患者から治療費はいっさいもらわず、遠くに住んでいても診察を受けに来られるように交通費も支給します。その代わりに、患者の家族は献血をすることで病院に協力をします。毎日、大勢の子どもとその家族が、診察のために朝早くから病院の前に並びます。私たちが訪れた日は、午前1000人、午後700人もの患者の受付をし、午後2時頃には診察を待つ親子が、まだまだ床を埋め尽くして座っていました。17周年パーティー収益のうちの、1,307,720円に加え、医療機器(株三井住友銀行ご協賛)をこの新病院へ寄贈し、子どもたちの治療に役立てさせていただきます。(次号につづく)



多い日には、1日4000人もの患者が訪れます。

## 第4号キッズ・アース・ホーム in ベトナム “友だちはどんな顔？”

ながーく広げられた真っ白なキャンパスに子どもたちが寝転がります。その輪郭を、お友だちがクレヨンで描き、その後、好きな色を使って、みんなの顔や手足、服などを描きました。まわりには、お花やバイク、お星さまなど、小さな絵がたくさん散りばめられ、その中で、みんなで描いた等身大のお友だちは、まるでダンスをしながら、ふわふわ飛んでいるよう。みんなでわいわい楽しい時間でした。また今回、17周年パーティー収益のうち、253,107円をこのホームへ届けました。この収益金は、壁の塗替えや壁のタイル張り、本棚の購入をはじめ、ホームの運営費として使わせていただきます。(画材ご提供：ターナー色彩株)



モデルになれなかった子どもたちも、「友達を描くときには、とても楽しそう。(第4号ホーム)



皆、この絵のモデルになりたいと、「入りたい人！」と募ると、競って手を挙げます。(第4号ホーム)

## 第5号キッズ・アース・ホーム in ベトナム “あなたはだあれ？”名刺プロジェクト

ビジネスマンが必ず持っているもの、それは名刺です。子どもたちにとって、名刺はちょっぴり憧れの、大人の持ち物のようです。今回、このホームでは、子どもたちが自分の名刺作りに挑戦しました。小さなカードに、色鉛筆やカラーペンを使い、丁寧に描きます。幼稚園の小さな子どもたちから、小学生のお兄さんお姉さんたちまで、みんなで参加。実はこれらの名刺は、今後、日本・クアアチアなどの子どもたちへ届ける予定です。

※キッズ・アース・ホームinベトナムは、ストリートチルドレンが無料で小学校教育を受けられる施設。第4号は麻都市デザインシステム、第5号は兼ワールド航空サービス、そして現地NGOのFFSCのご協力により、2002年ホーチミンに建設。



できあがった名刺を持って、ひとりひとりの写真も撮りました。(第5号ホーム)



赤青黄の三色の絵の具もどんどん混ぜられ、すてきな色に。(第4号ホーム)

# KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

## クリスマスプレゼントプロジェクト

昨年12月、たくさんのクリスマスプレゼントを、7つの子どもの施設に届けました。そのうち、愛育養護学校では、クリスマス会に合わせ、サンタの帽子をかぶったボランティアの方やスタッフが登場。すてきなクリスマスソングが流れる中、子どもたちに手渡しました。また、児童養護施設「野の花の家」では、イブの夜、子どもたち一人ひとりの枕元へ届けられ、翌朝見つけた子どもたちは驚き、そして大喜び。中でも、2歳の女の子は、それ以来、プレゼントのくまの「ジャッキーちゃん」とすっかり大の仲良しに。今では、每晚抱いて寝ているそうです。



### 〈お届け先施設〉(五十音順)

学校法人『愛育養護学校』/杏林大学医学部付属病院/財団法人『がんの子供を守る会』/児童養護施設『野の花の家』/児童養護施設『至誠学園』/児童養護施設『目黒若葉寮』/日本医科大学付属病院/東京慈恵会医科大学付属病院  
※慈恵医大では12月、感染症の関係で、届けることができず、1月に入ってからお届けしました。

### 〈ご提供各社〉(五十音順)

㈱キャラ研(『くまのがっこう』グッズ)  
コールマンジャパン㈱(アウトドアポーチ)  
㈱トンボ鉛筆(鉛筆、消しゴム、色鉛筆、他)

ご協力ありがとうございました。

# コラム

## DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.12

リチャード L. ギルフォイル  
コールマンジャパン株式会社 代表取締役社長/子供地球基金 顧問委員

コールマン ジャパンは、100年以上にわたり伝統を守り続け、世界中の人々に信頼性のある商品を提供し続けている米国のコールマン・カンパニーの日本支社です。

コールマン・カンパニーは、創立者の一族であるシェルダン・コールマン・シニアが残した“屋外に出て自然に親しむことは、より人間らしくなることだ。私たちがもともとそこにいたのだから”という企業精神のもとに業務を行っており、私たちが事実、永年の調査と経験から、人々が自然と親しみ調和することによって心身共に健全になれるということを知っています。そして、この精神を世界中の人々、特にわれわれの住む地球の将来を担う子どもたちと共に分かち合い、彼らによって受け継がれることを心より望んでいます。

コールマン ジャパンは、ヴィジョン・ステートメントの中で、コールマンを介して子ども達がアウトドア活動の喜びを体感する、より多くの機会を提供することを掲げています。

こうした背景から、私も子ども地球基金の趣旨に賛同し、2004年より活動に参画してきております。世界中の子どもたちに平和が訪れることを願い、これからも引き続き子供地球基金を応援してまいります。

## NEW MEMBERS

### 新規にご入会いただいた方々です

(個人会員) 石川 慶子 様  
稲葉 和男 様  
上原 満里子 様  
上月 マリア 様  
西 裕介 様  
宮崎 裕子 様  
ほか匿名1名

(団体会員) 有限会社 ノーブル

(ビッグファミリー会員)  
上原 満里子 様  
蛭崎 多賀子 様

(2005年12月1日~2月28日現在・五十音順)

## ギャラリー&事務局移転

2006年3月27日より事務局を移転します。移転前の場所から徒歩10秒。恵比寿ガーデンプレイスの裏手です。以前よりもずっと多くの絵が飾られた空間になりました。お気軽にお立ち寄りください。

### ■業務開始

2006年3月27日(月)

### ■移転先

〒150-0013 渋谷区恵比寿3-25-2  
(TEL) 03-5449-8161 (変更なし)  
(FAX) 03-5449-3962 (変更なし)

### ■移転機能

・キッズ・アース・ギャラリー  
・キッズ・アース・ホーム東京  
・事務局

